

公共政策プログラム 文化政策コース

コースの目的

公共政策プログラム文化政策コースは、日本文化の創造と発展、より豊かで魅力のある社会の創造、また文化や伝統の新たな発展を期して、文化的資源を対象とする政策の分析、評価、立案及び実施能力を有する高度専門家(行政官、実践家)を育成するコースです。

ディプロマポリシー

文化政策コースで、学生が身に着けるべき資質・能力の目標は次の通りです：

- ① 文化政策に関する専門知識を持ち、課題を多角的な視点から分析し、問題点を抽出できる能力
- ② 公共政策に係る幅広い知識を持ち、多角的な視野から学術的な分析に基づいた課題解決に向けた政策分析ができる能力
- ③ 理論と実務の現状への深い理解のもと、実践的な課題解決に向けた政策提言ができる能力
- ④ 一つの課題に関し、関連データ等を政策論の枠組みやツールを活用して分析し、研究論文や政策提言としてまとめ、かつプレゼンできる能力
- ⑤ グローバル社会において異なる価値観や文化に対して深い理解を持ち、バランスのあったリーダーとして活躍することができる能力

カリキュラムポリシー

【コース指定科目】

コース指定選択科目では、文化政策に必要な知識を学ぶとともに、学生は自らの特定課題研究に沿って必要と考える選択必修科目、選択科目を選択することができます。また、授業等で学習した理論を就業体験の中で発展させるためのインターンシップに参加することも可能です。これらの学習の上に、ポリシープロポーザルを書くことが終了要件となります。

アドミッションポリシー

求める学生像

文化政策の実務に携わっている行政官、文化資源の維持管理運営やマネジメントに携わる実践家などで、将来この分野における専門家として、高度な知識を学び、政策立案や提

言を積極的に行い、国及び地域の発展に貢献することを目指す意欲のある学生を受け入れます。

入学前には、大学学部入学程度の基礎学力、及び一定程度の英語力、ならびに、大学学部で教授される政策関連分野における基礎的な知識を習得していること、関連分野での一定程度の実務経験を有することが望ましいです。

審査方法及び審査基準

【第1次審査】

出願書類に基づく審査を行います。

【第2次審査】

第1次審査の合格者に対してオンラインで面接を行います。書類選考で必要と判断された者には課題提出を課す場合があります。

面接では決められた設問に対する受け答えをしていただき、応募者の回答内容の論理性、的確性、政策課題への目的意識、学習意欲、修了後のキャリアプランの明確さ、コミュニケーション能力等を審査基準として選考します。

カリキュラムマップ： 公共政策プログラム文化政策コース

区分	科目番号	科目名	ディプロマポリシー①	ディプロマポリシー②	ディプロマポリシー③	ディプロマポリシー④	ディプロマポリシー⑤
			① 文化政策に関する専門知識を持ち、課題を多角的な視点から分析し、問題点を抽出できる能力	② 公共政策に係る幅広い知識を持ち、多角的な視野から学術的な分析に基づいた課題解決に向けた政策分析ができる能力	③ 理論と実務の現状への深い理解のもと、実践的な課題解決に向けた政策提言ができる能力	④ 一つの課題に関し、関連データ等を政策論の枠組みやツールを活用して分析し、研究論文や政策提言としてまとめ、かつプレゼンできる能力	⑤ グローバル社会において異なる価値観や文化に対して深い理解を持ち、バランスの取れたリーダーとして活躍することができる能力
区分I 必修科目	PPP400J	政策論文演習			○	○	○
区分II 選択必修科目	ECO1000JA	ミクロ経済学 I		○		○	
	ECO1050J	マクロ経済学		○		○	
	ECO2700JA	計量経済学		○		○	
	ECO2710J	費用便益分析		○		○	
	GOV2100J	政策過程論		○	○		
	GOV2520J	行政の改革・革新と政策評価		○	○		
	GEN5020E	The World and the SDGs					○
	GEN5030J	GRIPS Forum I					○
	GEN5040J	GRIPS Forum II					○
	MOR1030J	データサイエンス基礎		○		○	
	MOR1100J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理 I				○	
	MOR2000J	計画と評価の数理		○		○	
	MOR2020J	実践データサイエンス		○		○	
	MOR2100J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理 II				○	
REG1200J	行政法の基礎		○	○			
(コース指定科目)	CUL1000J	文化政策研究の基礎	○	○	○	○	○
	CUL2020J	文化資源論	○		○	○	○
	CUL2110J	21世紀博物館工学	○		○		○
	CUL2140J	シアター・マネジメント	○		○		
	CUL2150J	グローバリゼーションと文化政策	○	○	○		○
	EDU1310J	教育政策概論		○			
	CUL2130J	日本・西欧の景観街づくり	○	○			
	DEV2140J	景観・デザイン論		○			
	DEV2150J	都市学の理論と実践		○			
	DEV2160J	社会基盤整備のPPP/PFI		○			
	DEV2170J	現代インフラ政策特論		○			
	DEV2180J	水圏国土学		○			
	DRM2050J	気象と災害		○			
	DRM3010J	災害対策各論 II		○			
	ECO2000JA	ミクロ経済学 II		○			
	ECO2020J	政府と市場		○			
	ECO2100J	財政政策		○			
	ECO2600J	経済政策の理論と展開		○			
	ECO2900J	ゲーム理論		○			
	ECO3100J	日本経済の現状と課題		○			
	ECO3750J	経済シミュレーション分析		○			
	GOV2110J	日本政治と理論分析		○			
	GOV6100J	政策過程論特別演習		○			
	PAD2030J	ベンチャー・中小企業と技術革新		○			
	PAD2040J	中小企業経営と地域経済		○			
	MOR3010J	数理モデル分析演習		○			
	REG2310J	地方自治と行政学		○			
	上記以外の授業科目		○				
区分III 選択科目							